

田舎にいても、面白いことが出来ることを伝えたい

株式会社 八(エイト)



代表取締役 須田和浩氏  
Creative Director 須田有希さん  
柏崎市東本町 1-5-23 ル・オクラ1F  
Tel.41-5203 Fax.41-5214

十一月初めの爽やかな秋晴れの中、商工会議所向かいル・オクラ一階にある株式会社 八(エイト)の代表取締役 須田和浩さんとクリエイティブディレクター 須田有希さんからお話を伺った。株式会社 八さんは、WEB制作、印刷物制作、商品やロケーション撮影、イベント企画運営などを手掛けており、ご夫婦でお仕事をされている。

須田和弘さんは、柏崎市のご出身。もともとモノを創ることに興味があり、柏崎高校を卒業後は、名古屋の大学へ進学して映像や写真を学んだ。大学時代にはアルバイトでブライダルのカメラマンを経験する。大学卒

業時には就職活動をしていなかったとのことだが、卒業して就いた職業が、果物の行商だった。リアカーに果物を積んで家庭を回り売り歩いたそうだ。その後、柏崎に戻り長岡市でイベント企画やブライダルの演出を行っている会社に転職する。三年間この会社で経験を積んだ後、二〇一五年五月に株式会社 八を設立した。

「八」と書いてエイトと読む、ちよつと変わった社名の由来を聞いてみると、以前働いていた会社が須田さんの言いにくい社名だったので、はつきりと分かりやすくしたかったのと、末広りの意味合いで八と書いてエイトと読むようにしたそう。親が兼業農家でお米を作っていたことが、独立を考えるきっかけになった。作ったお米を自分で販売できないかと考えることから、独立の構想を練り始めたそう。現在では、生まれたときの体重のお米を「体重米」というブライダルギフトとして販売している。

独立を決めた後に二か所の結婚式場から「独立するなら今後は、須田さんの会社に司会をお願いしたい」と言われて、ものすごく嬉しかった

という。また、市内の製造業のお客様でWEBサイトのリニューアルを行った際には、会社の強みをゼロから見直した。その強みをWEBサイトでうまくアピールし、リニューアル費用があつたという間にペイ出来るほどの大きな成果につながったお話が印象的だった。

取材の最後に、今後の取り組みをお聞きしたところ「田舎にいても、これだけ面白いことが出来ることを伝えたい。他の人が望みを持てるような影響力を持ちたい」と熱く語ってくれた。和浩さんは、まだ三〇歳とにかく若い。しつかりものの奥様、有希さんと、穏やかな雰囲気でも時おりピシッとしたオーラを放つる和浩さん。お二人の息の合った感じがとても素敵だった。最近はずっと二人では手が回らなくなってきたので、新しい人を入れて環境を整えたいとのこと。八という社名のように末広がりな未来を感じた。



(忠・町取材)